

反省について

師範 岸玄二

おはようございます。

1年の始まりということで本年もよろしく願いいたします。

本大会の開催にあたりご尽力いただきました大野実行委員長、一宮道場の皆様、スタッフの皆様、本当にありがとうございます。

今年も変わらず心の在り方についてのお話をさせていただこうと思います。

人間のあるべき心は3つだけです。『感謝・敬意・反省』この3つ以外は必要ないというお話をさせていただいています。今日はこのうちの敬意と反省についてのお話をさせていただきます。

まず敬意について、最も大切で基本となる心です。

敬意に基づく行動のことを礼儀と言います。皆さん礼儀正しいでしょうか？

例えば皆さんが友達の家遊びに行つたとしましょう。玄関を上げて家に入り、冷蔵庫を開けてジュースを飲む。これが礼儀正しいでしょうか？まず入る前に『お邪魔します』『入ってもよろしいでしょうか』などのやり取りが必要です。ジュースを飲む時も同じですね。礼儀とは簡単に言いますと『順序を守る』ということです。お友達のお母様に『ジュースくれよ』と言っていいのでしょうか？そうではありません。相手を優先して目上の方と認識すれば敬語という言葉で伝えることができます。これも順序を守るということに含まれます。

自分を最優先にした時に礼儀は損なわれます。そのことは知っておいた方が良いでしょう。

例えば皆さん挨拶は出来ますか？挨拶をしないのは無視していることと同じです。

また今年変えていこうと思っているのですが皆さん練習中に返事は出来ますか？これはとても難しいことです。自分だけが返事をすると恥ずかしいと思ってしまいます。しかし相手目線で見ると先生たちは一生懸命皆さんにテコンドーを教えてくれています。その人に対して返事をしないということは『話を聞いていない』ということです。それは先生に対して失礼なことではないでしょうか？

返事をするタイミングが難しいこともあります。そういった場合はルールを作り、みんなで実践していく。それが道場という場所です。この返事については各道場単位で頑張ってくださいと思います。

次に反省についてです。皆さん反省するとはどういうことでしょうか？

反省することの本質は『自分が悪い』と思えることです。『反省してます』『ごめんなさい』と言うことが反省しているということではありません。

例えば今日皆さんは試合に参加されますが負けたら誰の責任でしょうか？当然自分と答えるでしょう。しかし本当に負けた時に毎回納得できるでしょうか。皆さんは一生懸命に練習をして今日を迎えています。そういった中で判定に納得がいかないことはどれだけでもあると思います。これは試合だけではありません。特に大人になると会社に入ったり組織に属したりみんなでも目的意識をもって何かをすることがあります。そういった中で人間関係がうまくいかない、納得のいかないことが起きるのはあってしまうものです。

納得いかないのは重々承知です。しかしながらそれでも『自分が悪い』と思えることが『強い』ということだということは覚えておいてください。

自分が悪いと思えない時に人がどうなっていくのかと言いますと、何かを壊すことでしか物事を解決できなくなります。それが相手であったり、自分であったり、時にはどちらも壊れることもあります。また対象は人だけではなくルールであったりチームであったり組織であったりすることもあります。しかしそれは本当の解決ではありません。

本当に強い人は誰も傷つけません。誰も不快にさせません。それが大変に難しいことだということはいくぶん分かっています。しかしながら私は武道家としてそこを目指します。

今日のお話が皆さんの何かの参考になればと思います。

私からは以上です。

ありがとうございました。

2025年1月26日

第24回愛知県テコンドー選手権大会にて